

週報

国際ロータリー
テーマ

奉仕を通じて
平和を



Vol.46 第2248回例会

2013.1.31

今年度会長テーマ

和で輪を広げ、前に進もう

■司会：
戸澤例会運営委員



■点鐘：中丸会長

■合唱：ロータリーソング
「4つのテスト」

◆ソングリーダー：
村田会員



■お客様紹介：
嶋田パスト会長

◆ゲスト：
細瀨一男名誉会員
卓話者 長谷川昌昭様



皆様こんにちは。今日は細瀨名誉会員がお見えになりました。ようこそおいで下さいました。ごゆっくりお過ごし頂ければ幸いです。長谷川先生ようこそおいで下さいました。卓話を楽しみにしています。

今日は漆原社会奉仕委員長の尽力で、当クラブ主催にて日赤の献血が市民センターで開催されています。例会前に挨拶に行き、人柱となり献血をしてまいりました。最近では成人の場合400ccの献血が主流ですとのことで、200ccの献血経験しか無い私には少々不安でしたが、無事献血終了となりこの場に来ています。挨拶の最中に貧血で倒れないよう注意したいと思います。

さて、最近の報道で中国の有害濃霧の話は皆様ご承知だと思います。昨日の夕刊報道によると、日本の面積の3倍に匹敵する場所がこの有害濃霧に覆われているそうです。これはPM2.5という物質が原因です。今朝のテレビ報道によるとこのPM2.5が日本にも飛来しているそうです。特に九州を中心とする西日本に影響が出ています。福岡市では4月の計測開始から昨日まで、日本の環境基準を超えた日数が17日に達したそうです。

PM2.5という物質は主に工場のばい煙に含まれ、スギ花粉等と比べて遥かに小さな物質です。多少吸い込んだとしても直ぐに健康に影響を与えることはありませんが、乳幼児には特に注意が必要です。特に黄砂が発生した時には、一緒に混じって飛来しますので十分注意が必要です。

日本と中国には色々な問題が起きていますが、環境分野では日本が協力しアドバイスすることが日本の環境を考える上でも必要かも知れません。

会長報告

中丸会長



幹事報告

赤木幹事



■例会日／毎週木曜日 12:30～13:30

■例会場／八坂神社 社務所

〒189-0013 東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／石山 敬

■事務所／〒189-0013

東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL 042-393-7500 FAX 042-395-1166

■ガバナー事務所：

・2011～12年度ロータリーの年次報告書のウェブサイトに
ついて

http://www.rid2580.org/download/
よりダウンロード可能

・日本人親善朝食会についてのお願いについて
2013年6月23日(日) 6:30～

於 シェルトン リスボニア ホテル

会費 3,500円

締切 4月1日(月)

・6/23「リスボン石川ナイト」の案内について

2013年6月23日 19:00～22:00

於 EPIC SANA Lisboa Hotel

参加費 10,000円

締切 2013年5月17日(金)

■国際ロータリー日本事務所：

2月のロータリーレート 1ドル=88円

■ローターアクト委員会：

国際ロータリー第2580地区ローターアクト第44回
地区年次大会の案内

地区ターゲット「未来を結ぶ～RAC=家族～」

2013年3月30日(土) 14:00～

於 アカデミーホール(東京都豊島区)

締切 2月24日(日)

■地区米山奨学委員会：

2013年3月8日(金)地区米山奨学委員会の案内について

2013年3月8日(金) 15:00～

於 ガバナー事務所

■例会変更：

所沢中央RC 2月11日(金)→例会取り止め 他

東京福生RC 2月 6日(水)

→東京武蔵村山RC創立式典 他

■ニコニコBOX

山宮クラブ管理会員



◆細 測 様：お久しぶりです。変化の激しい社会の中
で大変でしょうが、ロータリー精神を
以って頑張ってください!!

◆中丸会長、赤木幹事：

本日は細測名誉会長ようこそおいで下さ
いました。常日頃お世話になっておりま
す。ごゆっくりして行って下さい。長谷
川様、卓話楽しみにしております。よろ
しくお願い致します。

◆嶋田会員：長谷川先生、今日は卓話ありがとうござ
います。細測前市長お忙しいのにご出席
頂きありがとうございます。

◆目時会員：細測前市長ようこそいらっしゃいました。
ごゆっくりお寛ぎ下さい。

◆山本会員：細測名誉会員ようこそいらっしゃいま
した。本年もよろしくお願い致します。

◆小町会員：細測様ようこそおいで頂きました。設計
した杉並の家がTVで放送されます。B
S11 2月2日、9日(土)9:00～9:30です。

◆戸澤会員：細測さんようこそおいで頂きました。ご
ゆっくり。

◆漆原会員：細測名誉会員ようこそいらっしゃいま
した。本日の献血、皆様のご協力よろしく
お願いします。

◆野村(高)会員：

先週の例会をお休みしてドイツへ観光プ
レゼンテーションに行ってきました。期
せずしてサプライズがいくつかあり、充
実した出張でした。細測名誉会員本日は
ようこそおいで下さいました。

◆町田会員：細測名誉会員、本日はようこそいらっしゃ
いました。これからも、たまにはいらっ
しゃってください。本日はありがとうございます。

本日のニコニコ合計： 36,000円
累 計： 911,800円

■出席報告

相羽例会運営委員



在籍会員数	出 席	免 除	欠 席	出席率
29	23	0	4	85.19

■前々回メイクアップ修正後前々会欠席：1名

■前々回出席率メイクアップ修正後：96.30%

■前々会メイクアップ者：

飯田会員：京都西RC

中丸会員：東京東大和RC

野崎会員：地区米山委員会

■ゲスト挨拶

■細測一男名誉会員



皆さん、こんにちは。今日は久しぶりにお邪魔しましたが、公私ともにお世話になっている皆さんのお元気の姿を見て、大変うれしく思います。ぜひ、これからもよろしくご指導いただきたいと思います。

ここは懐かしい会場で、青年会議所をつくった時に、ここで設立総会をやりました。その後、ロータリーに入っているいろいろなとやってきましたが、ここにお集まりの皆さんは、各界、各層で大変活躍されている皆さんで、いろいろな見識をお持ちでいらっしゃいます。ロータリーのますますの充実、発展を心より祈願するとともに、中丸会長はじめ、皆さん仲良く頑張るとともに、東村山市の大きな発展のエネルギーになっていただきたいと思います。今日はよろしくお願い致します。

■委員長報告

■石山クラブ管理委員長



皆さん、こんにちは。本日、地区大会ご参加の方に、決定しました行程表を配布させていただきました。東村山駅東口より羽田空港までバスを用意してありますが、まだ出発時間が決まっておられません。おそらく朝6:30~7:00頃の出発となります。決まりましたら、追ってご連絡いたします。皆さん、3日間楽しみましょう。

■野崎地区米山奨学会 副委員長



皆さん、こんにちは。12月14日に、石川ガバナー、ガバナーノミニー3名、パストガバナー3名、委員会メンバー16名が参加し、2013-14年度の奨学生の選考試験を行いました。

東京で80名、沖縄で6名の受験があり、書類(成績証明書、研究計画、将来の希望、指導教官の意見書)を事前に提出の上、当日は面接試験を行いました。試験官3名ずつ4部屋に分かれ、まず学生4人に1枚の写真を見せ、それをもとにグループディスカッションを20分行いました。その後、各自20分の面接を行いました。

当地区での今年度の合格者は2年継続の学生11名を加えるため、29名の合格者を出し、そのうち、東京は26名、沖縄は3名でした(当地区の枠は40名)。受験者の国別内訳は中国60名、韓国14名、その他12名であり、合格者は中国8名、韓国6名、その他12名でした。1月に受け入れクラブのお願いをし、ほぼ承諾の返事をいただいております。

3月1日に文科省、米山奨学会より来賓を迎え修了式を行います。学生、クラブ関係者、大学教官、事務関係者等100名を集めて行い、その後、懇親会を行います。なお、新年度地区委員もこの行事から参加となります。以上です。

■漆原社会奉仕委員長



皆さん、こんにちは。本日、市民センターで献血を実施しております。予定では300名でしたが、若干下方修正します。午前中はまだ20名でした。今日、例会が終わりましたら、ぜひ皆さんのご協力をよろしくお願い致します。

■山本地区オン・ツー・ リスボン委員



皆さん、こんにちは。オンツーリスボンのご報告をさせていただきます。皆さんのご協力をいただきまして、おかげ様で23名の方が行って下さることになりました。当クラブからは、中丸会長ご夫妻、樺沢会員ご夫妻、相羽会員ご夫妻、戸澤さんご夫妻、村越会員、野村会員、飯田会員ご夫妻、私、山本です。秋川ロータリークラブからは山田ガバナー補佐を含む5名、武蔵村山ロータリークラブから5名、合計23名です。

本当にありがとうございました。細渕名誉会員、まだ席の方はございますので、もしお時間あるようでしたらぜひ奥様とご同行いただければと思います。

当日、6月23日の夜はリスボン石川ナイトという形で、ガバナーを囲んでの晩餐会を開催したいと思います。参加される東村山メンバーの方は全員参加ということで出席をお願いしたいと思います。

まだこれからでも席の方は間に合いますので、委員長か私まで連絡いただければすぐ手配しますので、よろしくお願い致します。

■3分間スピーチ

■発表者紹介： 山本職業奉仕委員長



3分間スピーチのご紹介をしたいと思います。本日のスピーチは野村会員です。よろしくお願い致します。

■発表者：野村裕夫会員



皆さん、こんにちは。本日はRC活動への参加を禁止させたお話しをします。サラリーマン時代、スバルで地域担当営業部長をしていた時のことです。地域担当営業部長は、スバルの県単位にある特約店の管理とその地域の売上目標計画確保の責任者であり、言ってみればディーラーのお目付け役が仕事です。

まず鳥取県の特約店の社長が米子RC会員でした。そのディーラーは赤字経営をしばらく続けていました。それなのにRCの例会は欠かさず出席し、いろいろな活動を積極的に行っていました。そのことは素晴らしいことですが、親会社から経営を任されている人はまず企業の黒字を達成することが第一で、本末転倒でしようということ、ロータリークラブを止めてもらいました。

もう一つは滋賀県で同じような経営状態のディーラーへ新たに赴任した社長が、草津RCに入りたいと言ってきました。メーカーが債務保証をしないと地元銀行から運転資金も貸してもらえないような状況にありながらRCに入りたいというのも、これも本末転倒でしようという加入を諦めてもらいました。

両者とも経営が順調な状況になったら大いにRCクラブ活動をやりましょうと話し、現在は多分この両ディーラーとも黒字経営をしているはずですが、残念ながら自分が担当部長の時は業績が回復せずRCには再加入はできませんでした。当時のスバルの商品力は相対的に劣勢であったために、赤字経営を社長一人に負わせるのは酷なところもありましたが、経営責任者として止むを得ない立場にあったなあと考えています。メーカー出資のディーラー社長はメーカーからの出向者、転籍者がやっております。従っていろいろな気持ちが入り混じってRCにも入りたくなるものです。しかし、今自分がRCの会員になって少々ロータリー精神を勉強した人間として考えると、本当にこの判断はよかったのかなと立ち止まります。もう少し寛容な心になって、職業奉仕の心、社会への感謝の心をRC活動の中で勉強し、仕事に結び付けてもらえたら黒字になったのかなと反省もあります。

そんな経験もして私自身RCの一面も知りましたが、過去のこのような経験の罪滅ぼしの意味もあり、今このように例会に出席しています。ロータリーの哲学を少し勉強し、少しはこれから実践していきたいと思っております。とはいっても、事業は黒字経営が大前提だと思しますので、自分も生活が成り立たなくなったら退会しなくてはいけないと思いますが、できる間は一生懸命勉強したいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

■卓話

■卓話者紹介：
細瀨一男名誉会員



長谷川さんの紹介をさせていただきます。長谷川さんは悪いことをした人を捕まえる警察官から機動隊の隊長をやったり、警察署長を経て、総務関係の偉い理事官などもやっておられました。それが終わってから今は日本コンペティティブインテリジェンス学会の理

事をやっておられます。私的には私は長谷川さんの奥様と商工会の方でお付き合いがありました。

また、国際友好協会がやっているインディペンデンスとの交流もあります。私が市長現職のときに長谷川さんと一緒にインディペンデンスにお邪魔しました。その時、長谷川さんがニューヨークの警察に行こうと言うので、まさか入れないと思っていたら、そこは長谷川さんの紹介、ちゃんと中に入り、ニューヨーク市警のいろいろなお話を生活安全課の担当の方にいただきました。

今日は「日本の危機管理」についてということで格別の高い話が聞けると思います。時間の関係で省略すると思いますので、またの機会をとらえて個人的にお聞きになったら長谷川さんに対する思い、危機管理に対する造詣がもっと深まると思います。それでは長谷川さん、よろしくお願い致します。

■卓話者：
日本コンペティティブ
インテリジェンス学会
理事 長谷川昌昭様



今日はお呼びいただきありがとうございます。東村山のことはいろいろなところで評価をしております。北海道、岩手県、埼玉県、千葉県、神奈川県、愛知県の国際会館、兵庫県の県民会館で評価をしております。何をかという、細瀨さんの市政を東村山の市長、また東村山はこういうところだ、と東村山の宣伝をしております。東村山市はインディペンデンスと姉妹提携都市を結んでおります。しかし、東村山にはインディペンデンス通りがないのが不満です。12年前、260名程から署名を集めたこともあります。インディペンデンスには東村山アベニューという通りがあり、びっくりしました。外国では町の名ではなく、人の名をつけるのが一般的で、いかに素晴らしいかということです。ロータリークラブでつくったと言われれば、プラスになると思います。

地元貢献をしなければいけないというのは私の信念です。東京生まれですが、山形で9年、東村山で39年育てております。今、75歳です。これも東村山にいろのおかげだと思います。市の行政がいい、それを支える市民がいい、東村山ほどいいところはないと思います。

現下の情勢を踏まえての危機管理ということで、日揮の問題にもふれます。日揮は素晴らしい会社です。なぜ、アルジェリアの事件が1月16日に発生したのか、この日はやってはいけない日なんです。なぜやってはいけない日かということ、2001年に出ているのですが、日本在外企業協会というのがありますが、そこでの私の考えです。イギリスのブリティッシュ・ペテロリウムがあちこちでいろいろなことをやられ、ことごとく失敗に終わっております。それで16日を選んだのではないか、歴史に学ぶ姿勢ということは16日じゃない日を選ばなくてはだめなのです。新聞やテレビでもやっていましたが、ベッド下やトラックの下に隠れ、チョコレートで助かった人もいます。トラックの下で助かったというのも何回もあります。歴史に学ぶというのはこういうことで、歴史上の教訓に学んでリスクを減らすということです。まず記念日には絶対にやってはいけないのです。

私の出発点は福生警察です。少し生意気で英語がで

きたので麻布か赤坂に行きたいと希望も出しましたが、福生に行けということで、私は徹底的に外国人を取り締まりました。免許証を見せろという金を出すのです。86人の無免許を捕まえたこともあります。

予兆と場所と人、これがすべてです。今日はこの3つから話します。私の修士論文はグーグルで世界一を11年とっています。日本人でただ一人です。去年、表彰されました。このグーグルの中から抜粋してまとめてあります。

昔は危機管理とはいわず、重要突発事案(重突)といいました。先程のニューヨーク市警に行った時の話ですが、細瀬さんと渡部さんはニューヨーク観光を犠牲にして、あとの34人は観光されました。市警で何を質問されたかという、警察がよくやったら市はどういうことをするのか、報奨金はどうなっているかなど。

先日、東村山でやった危機管理研修の内容に入っていきますが、これは東村山の渡部市長に頼まれ、打ち合わせを32回やって2月13日にやりました。東村山市は危機管理にお金を出しています。多摩地区の中では2市だけです。警視総監になった西村さんが警備課長のときに始めたもので、まだ5回目ですが、新しく赴任してきた警備課長も「これはすごい、私も行ってみよう」ということになり、やはり市の行政が違うなと思います。渡部市長は一番前で聞いていて、副市長は一番後ろで聞いていました。こういう人事配置も素晴らしいと思います。

警察は住民の信頼がないとできないので、ぜひ協力してやっていただきたいと思います。警察は批判されます。批判されるのは期待されているからです。NYのジュリアーニ市長がそう言うておりましたし、私もそう思います。

私は、今3つほどの大学でいろんなことを教えています。災害からどうやって復興するのか、危機管理はどうなっているかなど。今一番言われているのがJIBSです。J ジャパン、I イスラエル、B ブリテッシュです。これが今の話題です。そういうところも取り入れてやっております。こういう資料も全部自分で作ります。今回、荻野さんに依頼されたのは去年の8月で、打ち合わせも何回かやりました。年初に相羽さんにもお会いする機会があり、準備概要にご理解を得たものと思います。皆さんに配布した資料にもいろいろ引用がありますので、ぜひご覧ください。

日本では2010年に横浜でAPECを開催しました。世界で初めてですが、暴動はありませんでした。その後IMFも開催し、ラガルド専務理事もお見えになりました。ラガルドに「日本でも危ないと思いますか」と質問したところ「日本は市民と警察がいいから大丈夫でしょう」と言っていました。

参考文献より、河田恵昭さん、この方だけが日本で3月11日を予測した人です。震災の前年の12月に「津波災害-減災社会を築く」という本を書いており、大学でもこういう本がでていると話しましたが、相手にされませんでした。現在、関西大学の危機管理学部長をやっておられます。また昨年、テロや危機管理に対する功績が認められ「カタリスト賞」をいただきました。日本人で二人目だということで、大変価値のある賞だと思っております。

外国に英会話の冊子を持って行って使うとすごいねと言われます。どこかに行きたいときにはnear hereを使って尋ねるとだいたい通じます。イギリスとオーストラリアは一区画はdistrictです。アメリカのようにblockと言いません。インディペンデンスから来た16歳の女の子に家の広さを尋ねると18間分も歩くのでおかしいと思ったのですが、実際行ってみるとそれだけ広

かったのです。日本でいう1blockは銀座4丁目から数寄屋橋一丁目までにあたります。

資料にあるPDCAサイクルを繰り返し行っていると失敗がないのです。雪印の社長が「おれも寝てないんだ」と言いましたが、日揮の広報部長は足を揃えて立ち、マイクにも寄りかからない、まず足元が大事なのです。組織の危機管理については資料をご覧ください。

また、危機発言時の広報の必須事項として、リリースペーパーとありますが、これは発表したこと以外、言わないということです。聞かれたら「それについては後程」とか、直接ではなくみんなの前でということにして、発表前に起案者、稟議者、決裁権者のチェックをすることが重要です。

また、東村山市役所でもよく聞かれますが、陳腐な常套句「シッカリ、チャント、火急的迅速に、丁寧に、速やかに、早急に、誠意を尽くして」などの言葉は間違いなのです。こういうことを言うから信用されないのです。ではどう対応するかという「何を、いつまで、どうやるよとしているのか」を具体的に示すのです。言葉の使い方は難しいです。

減災というのは、若い人、子どもの話を聞くといいのです。新しい災害がきますから。三菱地所は毎年、備蓄の確認を行い、あるものを全部使い、ただで配っています。備蓄の確認も大事です。

ニューヨークのタイムズスクエアが厳戒態勢のときに私はテロ対策要員を暴きました。アルカイダの資料から列車を爆破するという予告があったのです。そのときに彼はこのバッジをくれました。ニューオーリンズからロサンゼルスまで解任され、バッジはいらなくなるからあげるとのこと、なくしたら大使館に届けてくださいといわれました。帰ってきて警察庁のテロ対策長に見せたところ、本物だということでした。なぜ分かったかという、靴が他の人はスリッポンでしたが、彼は踝までしっかり締めており、通る人への目つきが違いました。

海外にいったら、自分の身は自分で護ってください。鍵を閉めたら壊される、電車がついたらモノを盗られる、自動車はドアを壊される、そういう意識を持ってください。カードにサインをしたらダメだと言いますが、大丈夫です。間違ったサインは取り戻せます。

私の海外経験や生涯研究のテーマの危機管理や減災などについて急いで展開いたしました、本日はご清聴ありがとうございます。



■点鐘：中丸会長